DI

Atsugi City Hospital
Drug Information

1
2025.6

輸液フィルターと薬

厚木市立病院 DI

頼れるチーム 寄り添うココロ
厚木市立病院
Atsugi City Hospital

2025年5月時点

輸液フィルターの使用において注意すべき薬剤

薬品名（五十音順）	透過性	備考	参考
アムビゾーム点滴静注用50mg	×	目詰まりを生じることがあるので、フィルターは使用しない ※添付のフィルター(孔径5μm)を取付け、フィルターろ過しながら薬液を5%ブドウ糖液で希釈して使用	②
アルプロスタジル注10μg「サワイ」	×	エマルジョン製剤はフィルターを通らない	①
アルプロスタジルアルファデクス注射用20μg「タカタ」	△	フィルターの種類や点滴速度により吸着率が高くなる	②
イントラリポス輸液20%	×	脂肪乳剤はフィルターを通らない	①
オキサロール注2.5μg	×	フィルターの使用は定められないため、検討されていない	③
オクトレオチド酢酸塩皮下注100μg「サンド」	△	フィルターに吸着する恐れあり	⑤
グリセオール注	△	粘性が高く、フィルター装着により滴下速度が遅くなる	④
ケイセントラ静注用500/1000	×	フィルター透過性の試験を実施していない ※目詰まりする可能性もあり、フィルターは避けることが望ましい	③
ケイツーN静注10mg	×	フィルターの目詰まりを起こす可能性がある	②
献血アルブミン25%静注12.5g/50mL	×	血液製剤はフィルターを通らない	①
献血アルブミン5%静注12.5g/250mL	×	血液製剤はフィルターを通らない	①
献血グロベニン-I静注5000mg	×	血液製剤はフィルターを通らない	①
献血ノンスロン1500注射用	×	血液製剤はフィルターを通らない	①
献血ベニロン-I静注用2500mg	×	血液製剤はフィルターを通らない	①
サイレース静注2mg	×	点滴静注は適応外の使用となるためデータが存在しない	③
ダルベポエチンアルファ注シリンジ「KKF」 (5μg/10μg/15μg/20μg/30μg/40μg/60μg)	×	蛋白製剤であり、フィルターに吸着される懸念あり	③
低分子デキストランL注	△	粘性が高く、フィルター装着により滴下速度が遅くなる	③
ドルミカム注射液10mg	△	配合変化を起こしやすく、その影響でフィルターに吸着する可能性あり	③
ハプトグロビン静注2000単位「JB」	×	フィルターの使用は避けることが望ましい ※排出時間の延長・材質等によっては目詰まりを生じる可能性が否定できない	③
ヒューマリンR注100単位/mL	△	インスリンの吸着率を正確に予測することができない ※点滴中は患者の血糖値をモニターしながらインスリン量を調節して下さい	③
フィルグラスチム注75μg「F」	×	材質によりフィルター吸着する恐れあり	③
フェインジェクト静注500mg	×	データなし	③
フェジン静注40mg	×	コロイド粒子が破壊される可能性あり	③
フェノバール注射液100mg	×	液漏れを起こす可能性がある	⑤
プロポフォール1%（20mL/50mL）	×	微生物ろ過フィルターを用いて本剤を投与しないこと ※エマルジョンが破壊されることがある	②
ベクルリー点滴静注100mg	×	データなし	③
ホリゾン注射液10mg	×	吸着や液漏れを起こす可能性がある	⑤
ボルベン輸液6%	△	粘性が高く、フィルター装着により滴下速度が遅くなる	③
ロピオン静注50mg	×	脂肪乳剤はフィルターを通らない	①

×：使用は避ける　△：注意しながら使用

参考文献

①添付文書（輸液セットの添付文書）
②添付文書（医薬品の添付文書）＊先発品含む
③メーカー回答・メーカーホームページ
④根拠からよく分かる注射薬・輸液の配合変化Ver.2
⑤輸液製剤の特徴から見た輸液ライン管理のあり方～輸液ライン管理における医薬品に関連した諸問題とその対策～
⑥学会報告：″オクトレオチド注射剤の経静脈投与処方およびフィルター透過性の検討″

担当 ： 薬剤科 加瀬・牧野